

【特徴】

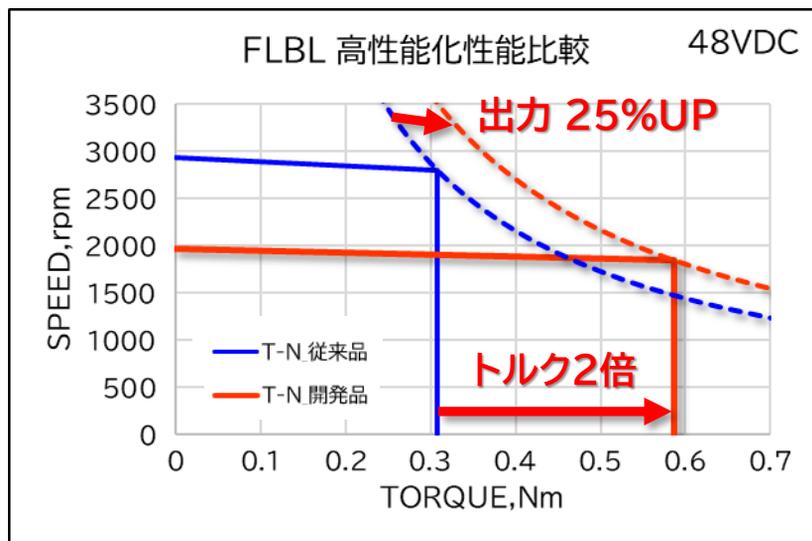
- 高性能化技術により **小型・軽量化**
- システムの **省スペース化** に対応
- 従来比 **2倍のトルクUP** を実現

【性能例】

1) 同一性能時の性能比較



2) 同一体格時の性能比較



○性能比較	従来品	開発品
定格トルク, Nm	0.31	0.59
定格出力, W	90.3	113.3
トルク定数, Nm/A	0.156	0.233

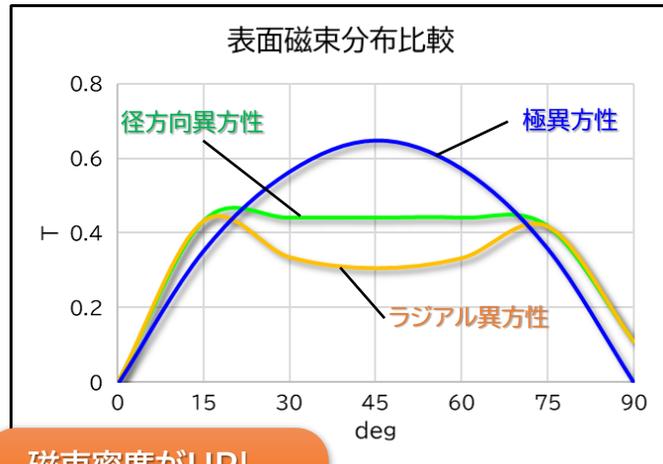
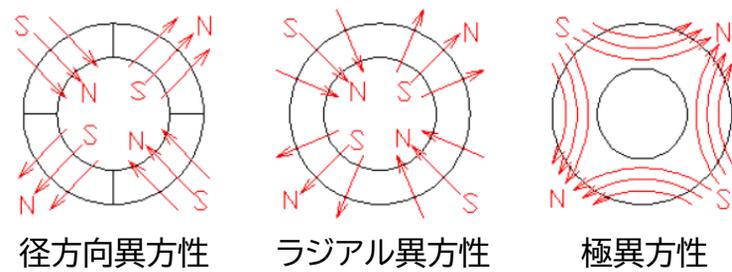
定格トルク約2倍
定格出力 25%UP



【導入技術】

■ 極異方性磁石

磁石の配向をコントロールすることでより大きな磁力をすることが出来る技術

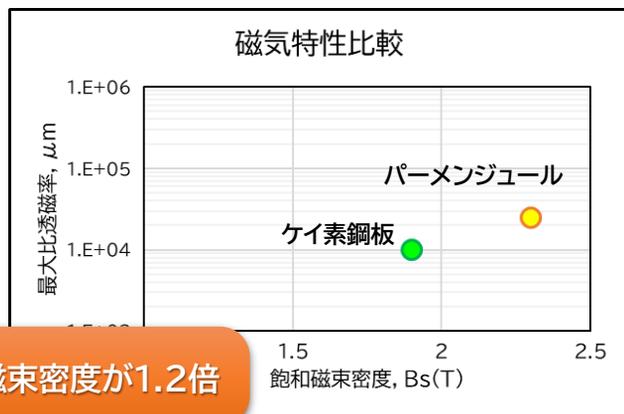


→ 磁束密度向上、低コギング化

磁束密度がUPし、波形が平滑化される

■ パーマンジュールコア

鉄(Fe)-コバルト(Co)の合金で、高い飽和磁束密度と透磁率を有する
実用化されている合金の中で最も磁束密度が高い材料

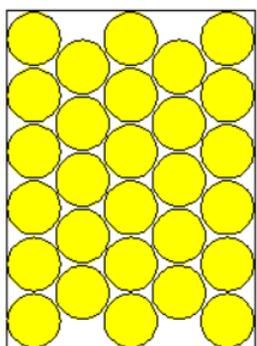


→ 磁束密度向上

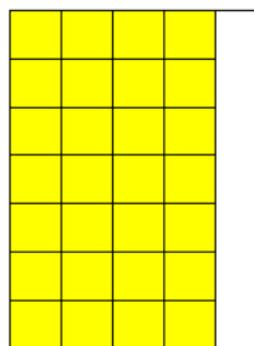
磁束密度が1.2倍

■ 角線

丸線で生じる隙間を角形状にすることで巻線の占積率の向上又は、導体面積の向上が可能

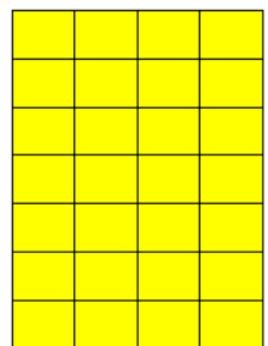


1) 導体断面積同等



巻線断面積
20% down

2) 占積率同等



導体断面積
20% up

→ 高占積率化による効率UP